

【目次】

1. 友愛労働歴史館の2015年企画展「安部磯雄」・同「赤松常子」・同「全文協」について！
2. 友愛労働歴史館研修室の会議・研修でのご利用のお願い！
3. 連載「日本労働会館物語」第52回（日本労働会館に結集した人々―西尾末広―）！

1. 友愛労働歴史館の2015年企画展「安部磯雄」、同「赤松常子」、同「全文協」について！

新年明けましておめでとうございます。今年も友愛労働歴史館をよろしく願いいたします。さて友愛労働歴史館の2015年の企画展は、下記の通りです。ご来館、ご見学いただければ幸いです。

当館の企画展は原則、年間2回を予定していますが、必要により更なる企画展を開催することがあります。今年は社会民主党や社会民衆党の結党を主導して「日本社会主義運動の父」と呼ばれ、また大学野球の発展などに貢献し「日本野球の父」を呼ばれた安部磯雄の生誕150年。これを記念し2015年3月9日から、「日本社会主義運動の父、野球の父 安部磯雄（仮題）」展を開催いたします。

また、2015年は戦前の婦人解放運動に取り組み、戦後は参議院議員としても活躍した赤松常子の没後50年に当たります。これを記念し、2015年7月21日「赤松常子と社会運動（仮題）」展を開催いたします。さらに本年は民主的労働運動の文化活動を担った全文協（全国文化運動協会）の結成から50年に当たります。そこで2015年12月7日からは、「全文協結成から50年、その今日的意義を探る（仮題）」展を開催いたします。なお、常設展「友愛会から連合へ―日本労働運動の100年」（2012.08.01～）のテーマ、内容の変更はありません（展示資料は適宜、一部を入れ替えております）。

<友愛労働歴史館の2015年の企画展>

- ①企画展「同盟結成から50年、その今日的意義を探る」（開催中。2014.09.08～2015.02.28）
- ②企画展「日本社会主義運動の父 安部磯雄（仮題）」 2015年3月9日～2015年7月14日
- ③企画展「赤松常子と社会運動（仮題）」 2015年7月21日～11月30日
- ④企画展「全文協結成から50年（仮題）」 2015年12月7日～2016年5月31日

2. 友愛労働歴史館研修室の会議・研修でのご利用のお願い！



友愛労働歴史館の研修室（会議形式24名、学校形式32名）は、展示会见学のグループ・団体に無料でご利用いただいています。しかし、ご希望があれば有料の貸会議室として安価でお貸ししています。どうぞご利用ください。なお、利用料金は1時間4000円ですが、労働組合や友誼団体に関しては長時間割引があります。

<友愛労働歴史館研修室のご利用について>

- ①利用時間帯 平日（月曜日～金曜日）10：00～17：00

時間外、土・日・祝日の利用はご相談ください（オープン以来、御断りしたことはありません）。

- ②利用申込み方法

原則、E-mailか電話で仮予約を受け付け、その後、利用申込書を提出していただきます。

③利用料金

1 時間 4000 円。但し、労組や友誼団体に関しては長時間割引があり、2 時間を超える時間帯は半額の 2000 円となります。ご利用は準備・後片づけに必要な時間を含めた時間帯でお願いしています。

④会場の形式・定員

研修室は長方形（縦 12m、横 4.5m）で 54 m²。学校形式で 32 名、会議形式で 24 名が基本です。

⑤その他

研修室のご利用はセルフサービス。また、研修室は禁煙です（喫煙室を用意）。なお、研修室備え付けの器材・備品として、大型プロジェクター（天井据付タイプ）、スクリーン（天井降下型）、大型モニター、マイク（有線及びワイヤレス各 2 本）、ホワイトボードなどがあります。

3. 連載「日本労働会館物語」第 52 回

＜日本労働会館に結集した人々—西尾末広—＞



今回は企画展「同盟結成から 50 年、その今日的意義を探る」（2014. 09. 08～2015. 02. 28）の「同盟ゆかりの人々」コーナーで取り上げている西尾末広（1891～1981 年）です。

西尾末広は、香川県女木島出身の労働運動家・政治家で、大正 8（1919）年に友愛会、大正 15（1926）年に社会民衆党（安部磯雄委員長・片山哲書記長。戦後の日本社会党、民社党の前身）の結党に参加し、昭和 3（1928）年の第一回普選で当選しています。

西尾は社会民衆党で、また昭和 7（1932）年以降は社会民衆党が統一した社会大衆党で活躍しますが、昭和 13（1938）年に「スターリンの如く」発言で衆議院議員を除名されます。また、昭和 15（1940）年には斎藤隆夫の反軍演説を擁護したことで、他の社民系議員とともに社会大衆党を除名されています（党首の安部磯雄は離党）。戦前期の西尾末広は、翼賛政治や産業報国会を批判し、また東条内閣の倒閣運動に参加したことで知られています。

戦後、日本社会党（片山哲委員長、西尾末広書記長）の結党を主導し、1947 年の片山内閣で官房長官を務めますが、同年、冤罪事件で逮捕され、日本社会党を除名されます（無罪確定後に復党）。1959 年には安保問題などを巡り左派主導の社会党から統制処分を受け、翌 1960 年に民社党を結党し委員長に就任。1972 年に政界を引退し、1981 年に死去しています。

友愛会・社会民衆党以来の民主的労働運動・民主社会主義運動に生きた西尾末広は、その生涯で衆議院議員を 1 回、所属政党を 3 回除名されています。しかし、何れも不死鳥のように蘇った信念の政治家であり、「百折不撓の人」、「鬣を持つ男」と呼ばれました。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F Tel050-3473-5325

Eメール yuairodokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodokishikan.com>

惟一館から 121 年、友愛会から 103 年